



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6772 URL http://www.tocos-j.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	7,886	3.5	390	39.0	414	83.2	253	209.6
2018年3月期第3四半期	7,623	32.7	281	141.0	226	—	81	550.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 196百万円(7.9%) 2018年3月期第3四半期 181百万円(91.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	161.62	—
2018年3月期第3四半期	52.18	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	12,003	3,943	32.8
2018年3月期	12,357	3,794	30.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 3,943百万円 2018年3月期 3,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となり、1株当たり年間配当金は4円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	2.5	450	20.5	500	53.7	300	20.3	191.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期3Q	1,581,250株	2018年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	15,123株	2018年3月期	14,615株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期3Q	1,566,509株	2018年3月期3Q	1,567,056株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料) P.3「経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は2018年6月26日開催の第61回定時株主総会にて、単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)および株式併合(普通株式10株を1株に併合)について決議し、2018年10月1日を効力発生日として、単元株式数の変更および株式併合を行っております。なお株式併合を考慮しない場合の2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- (1) 2019年3月期の配当予想
- 1株当たり配当金
期末4円00銭
- (2) 2019年3月期の連結業績予想
- 1株当たり当期純利益
通期19円15銭

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(追加情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益や雇用情勢を背景に堅調に推移しましたが、第3四半期に入り米中貿易摩擦や米国金利引上げを契機としたグローバル経済の減速を受け不安定化しました。米国経済は好調を維持しましたが、米中貿易摩擦と国内政治の混乱が懸念材料となっています。また、米中貿易摩擦の影響で中国経済の成長は減速しており、欧州や新興国経済にも負の影響が顕現化しています。当社グループの属する電子部品業界におきましては、電子化が進む車載用電装部品に加え、IOT化に向けての需要が高まっていますが、貿易摩擦を背景として半導体関連等の設備投資や携帯通信端末の販売台数の減少により需要が縮小するといった影響が出ています。

このような情勢下、当社グループは車載用電装品を中心に新たに5機種の生産ラインを立上げるとともに、可変抵抗器でも設備の増強に取組み、営業活動を強化してまいりました。大口取引先の在庫調整のため売上げが減少しておりました民生用可変抵抗器が期半ばに復活したことや、第2四半期に量産を開始した車載用非接触角度センサの販売増が寄与したこと、また車載用電装品製造設備費相当分の一部を受領したこと、モデルチェンジによる一部既存製品の減少をカバーし、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,886百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

利益面につきましては、車載用電装品製造設備費相当分の一部を受領したことに伴い対応設備を早期償却するなど生産設備の減価償却費が大幅増加しましたが、増収効果と原価低減で吸収し、営業利益は390百万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。営業外損益で前年同期の中国広州東高志電子有限公司の操業準備費や会津コスモス電機株式会社の第2工場移転費用がなくなったため経常利益は414百万円（前年同四半期比83.2%増）となりました。なお、為替差益は第2四半期累計の82百万円から当第3四半期累計は57百万円に減少しました。特別損失に煙台科思摩思電機有限公司の業務の一部を日本国内に移転したことによる事業構造改善費用26百万円を計上しましたが、前年同四半期に計上しました東高志（香港）有限公司の事業構造改善費用がなくなったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は253百万円（前年同四半期比209.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①可変抵抗器

産業機器向けなどの炭素系可変抵抗器が好調に推移し、民生用可変抵抗器の大口取引先の在庫調整が期中に解消し販売は回復したため、売上高は2,984百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、会津コスモス電機株式会社の第2工場及び中国広州東高志電子有限公司の稼働による生産効率の向上で489百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

②車載用電装部品

車載用電装部品は車載用フィルムヒーターや産業機器用センサに加え、新製品の車載用非接触角度センサが好調に推移し、また車載用電装部品製造設備費相当分の一部を受領したこと、売上高は4,665百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。セグメント利益は、増収効果と生産効率の向上で減価償却費の増加を吸収し273百万円（前年同四半期比23.2%増）となりました。

③その他

その他部門の売上は、大型設備投資が一巡し設備販売が減少したため236百万円（前年同四半期比17.0%減）、セグメント利益は減収の影響で55百万円（前年同四半期比23.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ353百万円減少し12,003百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べて10百万円増加し6,349百万円となりました。主な要因は、増収に伴い売上債権が123百万円及びたな卸資産が66百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が91百万円及び未収消費税等その他流動資産が87百万円減少したことによるものです。固定資産は363百万円減少し、5,654百万円となりました。主な要因は、早期償却を含む減価償却が進んだ有形固定資産が217百万円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が74百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ501百万円減少し8,060百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて154百万円減少し4,456百万円となりました。主な要因は、仕入債務172百万円及び短期有利子負債63百万円がそれぞれ減少し、その他に含まれる未払消費税等が65百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前

連結会計年度末に比べて347百万円減少し3,603百万円となりました。主な要因は、長期有利子負債242百万円及び繰延税金負債67百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて148百万円増加し3,943百万円となりました。主な要因は、株安に伴うその他有価証券評価差額金47百万円及び配当に伴う利益剰余金46百万円の減少と、親会社株主に帰属する四半期純利益253百万円の増加によるものです。この結果、当第3四半期連結期間末の自己資本比率は32.8%となり、前連結会計期間末より2.1ポイント改善されました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては2018年11月13日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,941	1,884,582
受取手形及び売掛金	2,069,959	2,056,864
電子記録債権	502,295	638,695
商品及び製品	397,857	506,711
仕掛品	356,729	388,505
原材料及び貯蔵品	801,555	727,159
その他	242,192	154,236
貸倒引当金	△7,022	△7,047
流動資産合計	6,339,509	6,349,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,369,161	1,337,271
機械装置及び運搬具(純額)	1,182,876	942,710
土地	1,715,871	1,715,871
その他(純額)	670,822	725,258
有形固定資産合計	4,938,731	4,721,111
無形固定資産	19,129	17,051
投資その他の資産	1,059,837	915,845
固定資産合計	6,017,698	5,654,007
資産合計	12,357,208	12,003,714
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	941,172	840,916
電子記録債務	637,339	565,302
短期借入金	1,502,545	1,380,867
1年内返済予定の長期借入金	712,725	779,822
未払法人税等	45,238	94,921
賞与引当金	131,175	86,207
その他	641,161	708,882
流動負債合計	4,611,358	4,456,919
固定負債		
長期借入金	1,993,630	1,751,214
役員退職慰労引当金	46,014	23,702
退職給付に係る負債	1,209,163	1,199,014
繰延税金負債	72,275	5,077
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	315,187	309,873
固定負債合計	3,951,065	3,603,676
負債合計	8,562,424	8,060,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	1,868,468	2,074,640
自己株式	△24,464	△25,313
株主資本合計	3,121,003	3,326,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,403	35,136
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△67,039	△84,906
退職給付に係る調整累計額	△76,102	△67,957
その他の包括利益累計額合計	673,780	616,791
純資産合計	3,794,784	3,943,119
負債純資産合計	12,357,208	12,003,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	7,623,044	7,886,269
売上原価	6,213,390	6,369,615
売上総利益	1,409,654	1,516,654
販売費及び一般管理費	1,128,503	1,125,905
営業利益	281,150	390,748
営業外収益		
受取利息	2,307	1,499
受取配当金	8,283	7,560
為替差益	38,929	57,766
補助金収入	—	5,406
その他	23,372	30,780
営業外収益合計	72,893	103,012
営業外費用		
支払利息	25,025	22,014
操業準備費用	66,829	—
和解費用	—	21,079
その他	35,934	36,072
営業外費用合計	127,788	79,166
経常利益	226,255	414,595
特別利益		
固定資産売却益	25	3,051
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	25	3,051
特別損失		
固定資産除売却損	11,019	2,658
事業構造改善費用	84,378	26,251
特別損失合計	95,397	28,909
税金等調整前四半期純利益	130,883	388,737
法人税、住民税及び事業税	26,348	112,261
法人税等調整額	22,768	23,304
法人税等合計	49,117	135,565
四半期純利益	81,766	253,171
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,766	253,171

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	81,766	253,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,696	△47,266
為替換算調整勘定	43,430	△17,867
退職給付に係る調整額	12,881	8,145
その他の包括利益合計	100,008	△56,988
四半期包括利益	181,774	196,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,774	196,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,930,107	4,407,641	7,337,749	285,294	7,623,044	—	7,623,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,930,107	4,407,641	7,337,749	285,294	7,623,044	—	7,623,044
セグメント利益	458,610	222,033	680,643	72,143	752,786	△471,635	281,150

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,635千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,984,309	4,665,176	7,649,486	236,783	7,886,269	—	7,886,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,984,309	4,665,176	7,649,486	236,783	7,886,269	—	7,886,269
セグメント利益	489,612	273,574	763,187	55,275	818,462	△427,714	390,748

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△427,714千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。